



6月9日

ポンプ車操法で中野方分団が四連覇

第15回市消防協会消防操法大会で中野方分団が優勝し、ポンプ車操法で4連覇を果たしました。

この大会は、消防団員の技術の向上と士気の高揚を目的に毎年開催され、今年は11チームが出場。選手たちは指揮者の号令で、抱えたホースを伸ばしながら標的に向かって走り、放水するなど、日頃の訓練の成果を披露しました。会場入り口近くでは、子ども連れの家族らがミニ消防車に乗ったり、消防服を着てレスキュー車の前で写真撮影したりして楽しみました。

優勝した中野方分団は、8月4日(日)に高山市で行われる県大会に出場します。



6月5日

リサイクルでお得にスポーツを

市体育連盟では、リサイクル資源を持ち込むと体育施設の利用割引を受けることができる「え〜な、リサイクル de スポーツ推進事業」を開始し、関係者らが協定調印式を行いました。

再生資源の引き取りを担うのは東栄製紙工業株式会社(大井町)。協定調印式には同社の高木應浩取締役社長、市体育連盟の山本好作会長、立会人として小坂市長が出席。協定書に署名し協力を誓いました。

高木社長は「参画を光栄に思います。地域の環境を守り、循環型社会の構築に貢献し、市の産業の発展に結び付く事業だと思えます」と話しました。



6月2日

アートを目標して田植え作業

明知鉄道山岡駅南の水田で「田んぼ de アート」の田植え作業が行われました。田んぼ de アートは田をキャンパスに見立て、色の異なる苗で巨大な絵を作り上げるもの。地元の40代から50代の人たちで結成した「山岡元気プロジェクト」が主催し、今年で4回目となりました。

描き出されるのは「令和」の文字と、市公式キャラクターエーナの顔。同プロジェクトメンバーや板垣建設株式会社社員、山岡中学校生徒など約40人が、7種類の苗を慎重に植えました。

アートは7月から8月ごろに見頃を迎え、イワクラ公園展望台から鑑賞できます。



6月1日

棚田に柔らかな明かりが広がる

中野方町の坂折棚田で、田の神様祭りが行われ、1,000基のろうそくの明かりが棚田を幻想的に照らしました。この祭りは、田の神様に田植えが終わった報告と豊作を願い、10年前から始まりました。

日没が近づく頃、田んぼのあぜ道に並んだろうそくに順々に火がともされ、提灯を持った参加者が棚田を練り歩きました。

棚田なごみの家前の広場では、笠周地域の団体らによる飲食の販売があり、五平餅や特産のユズを使った加工食品などが並びました。中野方町めれた囃子や棚田音頭など郷土芸能の披露もあり、棚田の風情に色を添えました。



6月15日

中学生の堂々とした姿に温かい拍手

第15回市少年の主張大会に市内の各中学校から推薦された生徒10人が出場し、ステージで自分の意見を発表しました。

最優秀賞は恵那北中学校の鈴木果恋さん。「祖父が生きた故郷、私が生きる故郷を未来へ」と題して少子高齢化問題に触れ、若い世代も加わり地域全体が強い意思を持って故郷を守っていく義務があると力強く述べました。どの出場者も堂々と発表し、会場からは温かい拍手が送られました。

優秀賞は、恵那東中学校の可知映羽さん、岩邑中学校の遠山若夏菜さん、恵那西中学校の安藤優さんが選ばれ、最優秀賞の鈴木さんは東濃ブロック大会に進みます。



6月9日

花咲け里山、エゴマの苗を植える

長島町久須見の耕作放棄地を活用してエゴマを栽培し、養蜂や関連商品の開発などを行う「花咲け里山プロジェクト」。恵那農業高等学校生徒の指導の下、里山サポーターやエゴマ塾生ら約50人が、エゴマ苗を植えました。苗植えを指導した同高の水野恵里さん(3年生)は、「多くの人と関わることができて楽しいし、やりがいを感じる。ミツバチのことをみんなに知ってもらい、ミツバチと共生できる環境を作っていきたい」と話しました。

苗植え後は採蜜体験があり、採れたての蜂蜜を味見。参加者は「香りが良い」「甘さが違う」と言いながら味わいました。



6月4日

高齢者見守りの輪、さらに広がる

市では、高齢者宅へ訪問する機会がある事業者などと協定を結び、業務中に異常を発見した場合は市へ連絡してもらい、問題の早期発見や支援につなげる仕組みを作っています。

今回は、市恵南商工会と新たに協定を締結し、調印式が行われました。市恵南商工会の堀鏝会長は「これまで高齢者の買い物支援を行ってきたが、今後はきめ細やかな見守りができると思う」と話しました。

市恵南商工会は、山岡町のみうらや、明智町のカネ周、またほん酒店の3事業者と覚書を取り交わし、地域の高齢者の見守り活動を行っていきます。



6月2日

健康について考えた健康フェスタ

「めざそう! 健康寿命日本一」をテーマに、まきがね公園一帯で健康フェスタが開催されました。

体脂肪や脳年齢の測定コーナー、歯科相談コーナー、かんぼの宿恵那の青山料理長による健康レシピ「トマトのシロップ漬け」の無料試食などがあり、多くの来場者でにぎわいました。80歳で自分の歯が20本以上ある方の表彰、各スポーツ競技での表彰なども行われました。

屋外では、立ち幅跳びやシャトルランなどの体力テスト、マレットゴルフや弓道の体験ができ、親子連れなどが芝生の上で気持ちのいい汗を流しました。